



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

為替相場はなぜ変動するのでしょうか？

今年に入り、為替相場は大きく変動し、「円安・ドル高」が急激に進みました。

「ドル」「円」「ユーロ」等、異なる通貨を取引する際の交換比率を「為替相場」や「為替レート」と言います。為替相場は、どのような理由で変動するのでしょうか？



為替相場が変動する理由とは？

為替相場は需要と供給のバランスにより変動します。買いたい人が多いと価格は上がり（通貨高）、売りたい人が多いと価格は下がります（通貨安）。その変動理由は様々あり、一つの要因だけに左右されるのではなく、複数の要因により変動します。

一般的にその変動要因は「短期的要因」と「中長期的要因」に分類されます。

短期的要因

経済指標※の発表

政府要人発言

地域紛争・戦争

中央銀行の為替介入

等

※雇用統計、失業率、CPI（消費者物価指数）、PMI（購買担当者景気指数）、GDP（国内総生産）、政策金利 等

中長期的要因

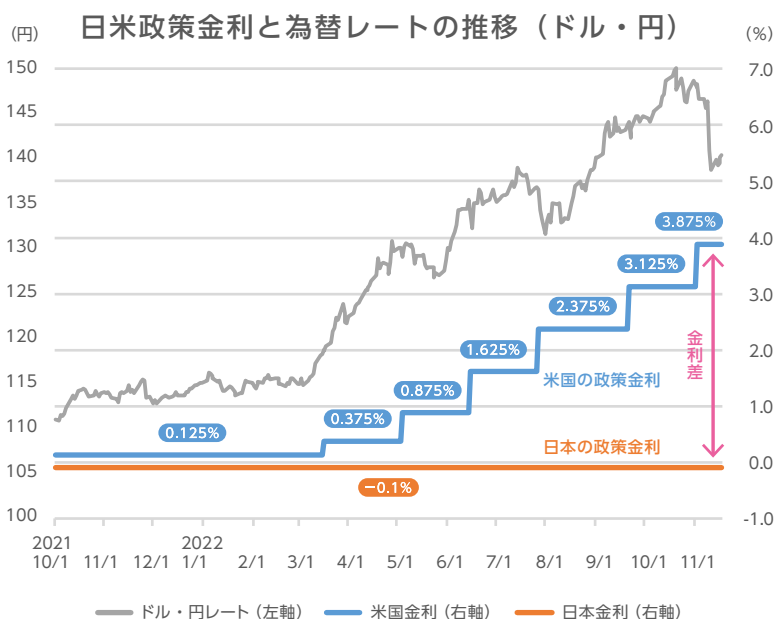
金利動向

貿易収支

景気動向

物価変動

等



左のグラフは最近1年間の日米の政策金利とドル・円レートの動きです。米国はインフレを抑制するため、複数回にわたり政策金利を引き上げました。それにより、3月以降、日米の金利差がどんどん広がって行きました。利上げによって二国間の金利差が広がると、金利が高い国の通貨に資金が集まり、結果として一般に、利上げた国の通貨価値は上昇します。中長期的に円安が進んだ理由の大きな要因はこの金利動向です。急激な円安を抑えるため、9月22日には24年ぶりとなる日銀による為替介入が行われ、その後10月21日にも2回目の為替介入が行われました。為替介入によって短期的に円高に振れる場面もありましたが、金利動向と為替が相関関係にあることがグラフからも見て取れます。今後の金利動向も注視しておきましょう。

※為替介入とは

中央銀行が、為替相場の急激な変動を抑えて安定化を図る目的で、外国為替市場で通貨間の売買を行い、為替相場に影響を与えること。

★為替相場については、「“りそにゃ”とまなぼ!2021年1月号『「円高」「円安」ってどういうこと?』」も併せてご覧下さい。



確定拠出年金の各種お手続きの方法は「便利な手続き集」からご覧いただけます。

便利な手続き集はこちら



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/process/>

2022年12月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。